



カワニシホールディングス

株式会社カワニシホールディングス

2020年6月期 第2四半期 決算説明会

2020年2月7日

イベント概要

[企業名]	株式会社カワニシホールディングス		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2020年6月期第2四半期決算説明会		
[決算期]	2019年度 第2四半期		
[日程]	2020年2月7日		
[ページ数]	43		
[時間]	15:30 – 16:01 (合計：31分、登壇：27分、質疑応答：4分)		
[開催場所]	103-0026 東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル2階 第2セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)		
[会場面積]	145 m ²		
[出席人数]	13名		
[登壇者]	3名		
	代表取締役社長	前島	洋平 (以下、前島)
	常務取締役管理本部長	村田	宣治 (以下、村田)
	取締役営業本部長	宮永	和雄 (以下、宮永)

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

登壇

司会：それでは、定刻でございますので、ただ今から株式会社カワニホールディングス様の2020年6月期、第2四半期決算説明会を開催いたします。

最初に、会社様からお迎えしてございます3名の方々をご紹介申し上げます。まず、代表取締役社長、前島洋平様でございます。

前島：よろしくお願いいたします。

司会：続きまして、常務取締役管理本部長、村田宣治様でございます。

村田：よろしくお願いいたします。

司会：続きまして、取締役営業本部長、宮永和雄様でございます。

宮永：よろしくお願いいたします。

司会：本日は、この後、前島社長様からご説明をいただきます。ご説明終了後に質疑応答の時間を設けておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速よろしくお願いいたします。

前島：それでは、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、当社グループの決算説明会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

本日はご覧のような内容で進めてまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





会社概要

商号	株式会社カワニシホールディングス
本社	岡山市北区下石井一丁目1番3号
創業	大正10年（1921年）5月
設立	昭和42年（1967年）10月
代表者	代表取締役社長 前島 洋平
資本金	607,750千円
従業員	1,185名（連結・2019年12月末）
決算期	6月末

まず、当社の概要でございますが、本社の所在地は岡山県岡山市で、創業は大正10年、1921年ということで、今年で99年目となっております。この医療器材の販売のビジネスというのは案外歴史が古くて、オランダ医学が日本に入ってきた江戸時代の後半頃から徐々に発展していったと言われております。そして、2000年に東証二部に上場をしております。その他の概要はご覧のとおりでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



創業

1870年
岡山藩医学館大病院
開設がはじまり

1922年
県病院（元藩医学館）から
岡山医科大学付属病院に

倉敷中央病院
1923年開設

岡山大学病院
1922年開設

川西器械店
1921年創業

地域医療の発展とともに成長

当社は大正 10 年に個人商店、川西器械店として、岡山市で創業しました。私の祖父が創業者でございました。それ以降、今日まで当社は地域医療の発展とともに成長してきたという歴史でございます。

私自身、もともと内科医なのですが、この上の写真ですね、こちらが私の母校の岡山大学医学部の創設期の頃の写真となります。

サポート

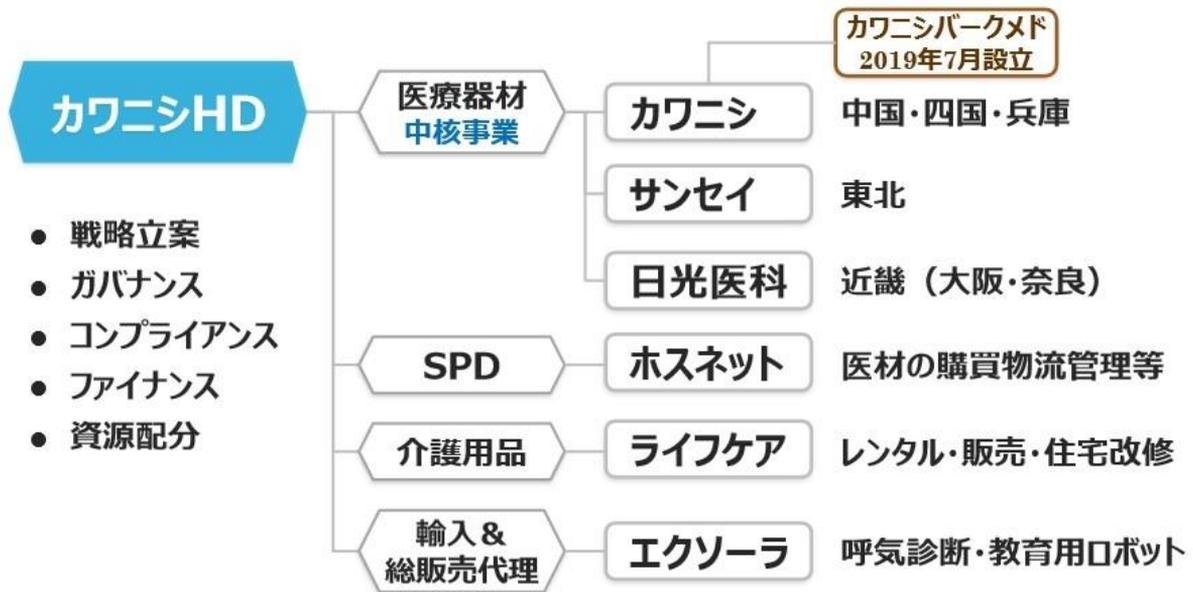
日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





グループ各社の概要

整形・循環器・手術関連・眼科～介護まで多様な事業ポートフォリオ



続きまして、グループ会社でございますが、当社カワニシホールディングスがグループ全体の戦略立案、ガバナンスなどを管理しております。そして、中核ビジネスの医療器材事業は急性期医療に対する医療材料、それから機器の販売や購買のコンサルテーションなどを行っています。

中四国、東北、近畿を主要な営業エリアにしております。

そして、この他、病院の医材購買や物流管理のSPD事業を行うホスネット・ジャパン、そして介護ベッドなどのレンタルや販売を行うライフケア、医療機器の輸出入販売を行うエクソーラメディカルがあります。すなわち、整形・循環器・手術関連・眼科～介護まで多様な事業ポートフォリオを形成しています。

なお、昨年7月には株式会社EPARKと合併でカワニシパークメドを設立しました。その詳細は後ほどご説明いたします。

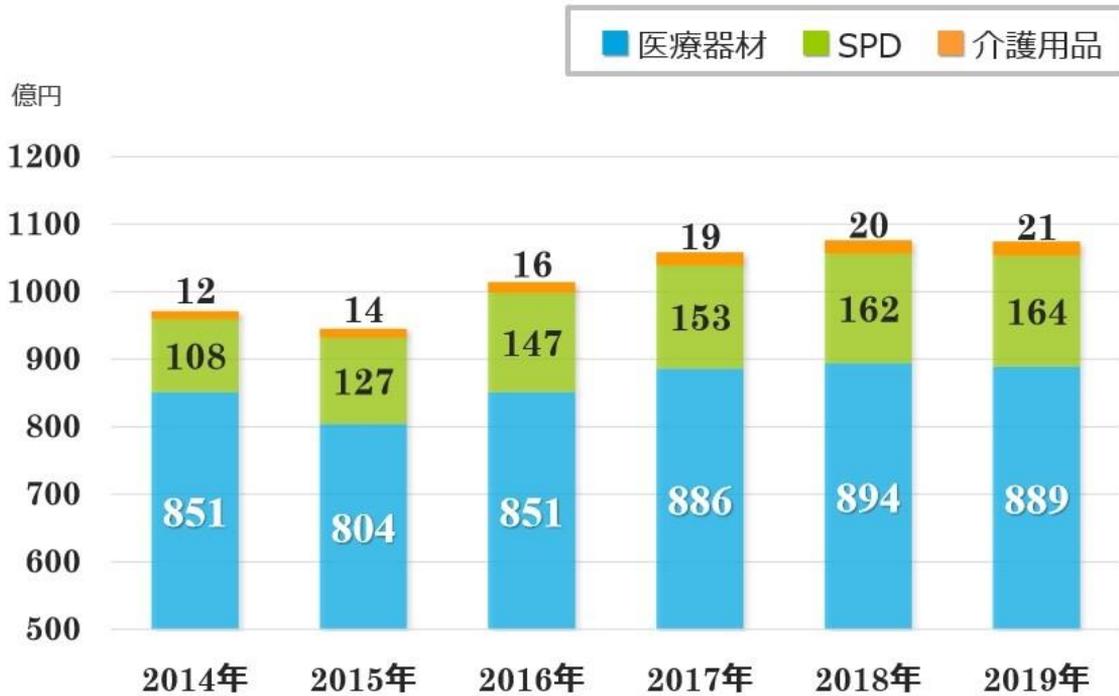
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





事業別売上高推移



7

Kawanishi Holdings, inc.

2014年6月期から2019年6月期まで、直近6年間の事業別の売上高の推移です。医療器材、水色のところですね。それから、SPDとも徐々に成長しており、上のオレンジのところですが、介護領域でも成長してきております。

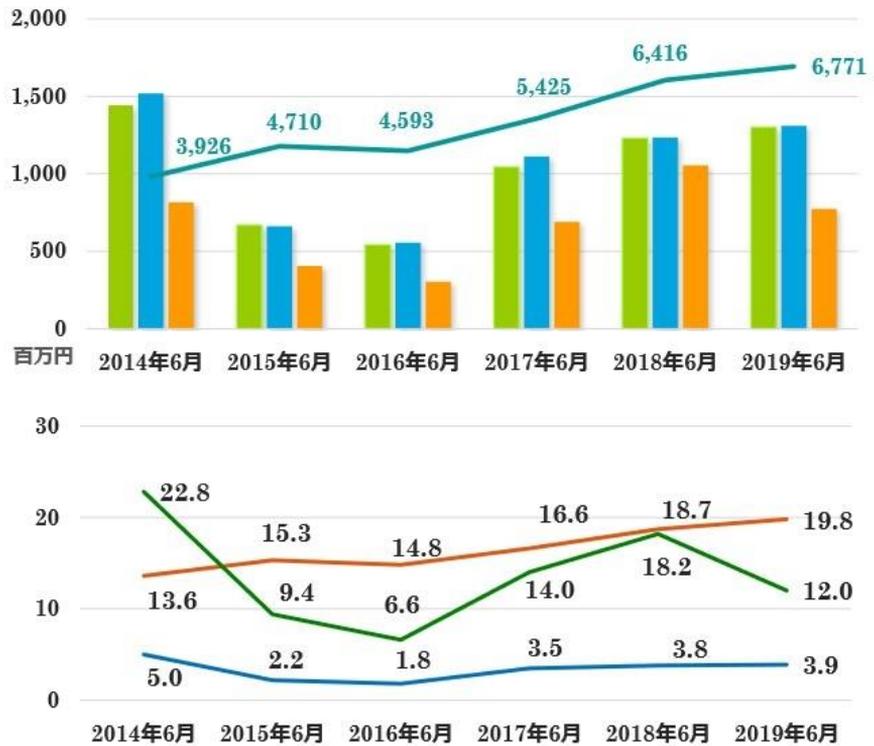
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





連結経営指標の推移



そして次に、前期までの直近6年間の連結経営指標の推移でございますが、2014年は病院の建て替えが集中した、いわゆる特需が利益を押し上げました。その後で、特需後の反落が2015年、2016年とありましたが、2017年から反転成長をしております。

そして、下の折れ線グラフでございますが、前期のROE、緑色ですね、ROEは12%で、市場の平均水準を上回っております、自己資本比率も徐々に増加して20%目前となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





医療機器卸売業界内ポジション（2019年8月時点）

社名・グループ		本社	売上高
メディアス HD	(東1)	東京都	1,977億円
セイエイ・エル・サンテHD		愛知県	1,928億円
ムトウグループ		北海道	1,801億円
宮野医療器グループ		兵庫県	1,083億円
カワニシホールディングス	(東2)	岡山県	1,074億円
アイティーアイグループ		長崎県	828億円
キシヤ グループ		福岡県	642億円
ヤマシタヘルスケアHD	(東1)	福岡県	615億円

※各社の売上高は、株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2019年版 No.3 卸・小売編」より、当社集計、又は各社が開示している連結売上高を集計。

次に、医療機器卸売業界内での当社のポジションでございますが、当社は業界内では5番目に当たります。業界全体では同業他社が1,000社あまりあると言われておりまして、まだまだ業界内でのアライアンス等による拡大の余地は大きいものと見ております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



競争優位性

強み

■ 専門志向

- 顧客との信頼関係
- メーカーとの協力体制
- 人材教育
- 整形トップシェア
- ブランド性

■ 生産性向上！

- デジタル営業ツール
- 情報共有システム
- 物流システム開発中

■ 成長領域・川上 を志向！

- 新市場開拓、収益性アップ

【当社】
大都市圏の低シェア

【業界全体】
物流管理・IT化の遅れ

弱み

10

Kawanishi Holdings, inc.

次に、当社の業界内における強みと弱みをお示しします。まず、強みでございますが専門志向であり、同業他社に先駆けて整形、循環器など、領域ごとの専門事業部を立ち上げ人材育成を重視してきました。その結果得られた顧客、メーカーからの信頼、地域におけるブランド性が何よりの強みです。

一方、弱みですが、当社としては大都市圏のシェアが低いことが挙げられます。当社では成長領域の新市場開拓や川上志向によりまして、堅実な成長と収益性の向上を図ってまいります。

さらに、業界全体の構造的な問題、弱みとして、物流管理とIT化が他の業種と比べて遅れていますが、当社ではデジタル営業ツール、情報共有システムを導入して、物流システムの開発にも取り組んでおります。そして、生産性の向上を目指しています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





カワニシグループの経営理念

- **ビジネスを通じて、
医学・医療・介護の発展に貢献し、
国民の健康長寿に寄与する。**
- **革新的な新機能・新技術の恩恵を、
患者と医療機関に速やかに適切に提
供する。**



代表取締役社長
前島 洋平
岡山大学大学院
医学研究科修了
医学博士・腎臓内科専門医

次に、当社の経営理念をお示ししております。「ビジネスを通じて医学・医療・介護の発展に貢献し、国民の健康長寿に寄与する」、そして「革新的な新機能・新技術の恩恵を、患者さんと医療機関に速やかに適切に提供する」となっています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





SDGs (Sustainable Development Goals)



2015年国連総会で採択された
 「我々の世界を変革する
 : 持続可能な開発のための2030アジェンダ」
 と題する成果文書で示された具体的行動指針

当社としてのSDGs活動



ミッション



先端医療機器
開発/導入



医工連携
産官学医連携

さて、SDGs でございますが、国連が定めた持続可能な開発目標で、2030年までに達成すべき17の目標が掲げられていますが、カワニシグループでは3番、すべての人に健康と福祉を。そして9番、産業と技術革新の基盤をつくろう。17番、パートナーシップで目標を達成しよう。この三つを目標としております。

これより、2020年6月期第2四半期の業績の概要を説明いたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





2020年6月期第2四半期 連結業績

	百万円	予算比	前期比
売上高	55,547	0.8%	+2.1%
売上総利益	5,601	△2.0%	+1.7%
売上総利益率	10.08	△0.29	△0.05
販管費	5,266	+1.7%	+6.9%
営業利益	335	△37.2%	△42.1%
経常利益	329	△38.9%	△43.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	169	△53.6%	△54.4%

● 輸入販売事業の貸倒引当繰入 2億57百万円

1株当たり当期純利益
30.20円

14

Kawanishi Holdings, inc.

2020年6月期第2四半期の連結業績は、連結売上高が55億4,700万円、営業利益が3億3,500万円、経常利益が3億2,900万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6,900万円となりました。1株当たり当期純利益は30.20円となりました。

営業利益の減少要因ですが、輸入販売事業において提携にかかる前渡金を貸倒引当処理として販売管理費に2億5,700万円を繰入計上したことであります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





2020年6月期 連結予算(見通し)

	百万円	前期比
売上高	110,520	+2.9%
売上総利益	11,563	+3.8%
売上総利益率	10.46	+0.09
販管費	10,663	+8.4%
営業利益	900	△30.8%
経常利益	911	△30.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	303	△60.8%

- 輸入販売事業の貸倒引当 2億57百万円
- 子会社支店の移転検討で不動産減損見込む 2億円

1株当たり当期純利益
予想 54.15円

15

Kawanishi Holdings, inc.

次に、今期の連結業績の見通しですが、売上高が1,105億2,000万円、営業利益が9億円、経常利益が9億1,100万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3億300万円の見通しです。

減益の要因は、先ほど触れました輸入販売事業での貸倒引当繰入の他に、2019年10月の償還価格の改定による、特に循環器領域の商品の利益率への影響を想定しています。

また、現在当社の子会社の支店移転を検討していますが、この移転の決議を当期中に行った場合には、既存の支店が遊休不動産となる見込みであり、当該不動産の減損処理で2億円の特別損失が発生する可能性があります。この見込額を通期の業績予想に加味したことにより、当期純利益が減少する見込みとなりました。

なお、SPD事業、介護用品事業の既存事業の分野は、おおむね順調な成長を見込んでおります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





呼気による乳がん検出システム



解析は最終段階ながら



* VOC : 揮発性有機化合物

ここで、輸入販売事業の呼気による乳がん検出システムの状況についてご説明します。本システムは2017年から国内の医療機関で数百例を対象とした実証試験を開始しており、現在、AI、人工知能を用いた解析を行っています。

現在、乳がんにとりわけ特異的な呼気、息ですね、呼気中の有機化合物の特定プロセスは最終段階に入っています。しかし、イスラエルのVOCs社の開発過程が長期化したこと、ならびに今後の市販までのプロセスも複数年を要するという見込みから、1月24日に発表しましたように、提携にかかる前渡金の貸倒引当処理を行いました。

今後につきましては、VOCs社の開発は継続し、臨床試験を経て2022年頃の市販を予定しています。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com





配当の基本方針

- ① 安定的な配当を継続します
- ② 成長投資に備え内部留保に努めます



次に、配当につきましては今回の業績見通しの変更による修正は行わない予定です。配当の基本方針としては、安定的な配当を継続し、成長投資に備えた内部留保にも努めます。

2020年6月期は1株当たり40円を予定しています。

次は事業別業績です。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





地域別売上高（億円）・構成比 2020年6月期第2四半期



19

Kawanishi Holdings, inc.

まず、地域別売上高です。本社のある中国地方が239億円、43%を構成しており、次いで四国地方、東北地方、関西地方の順となっています。関東地方の売上高が小さいですが、東京、栃木を中心に営業活動を行っています。構成比はご覧のとおりでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





医療器材事業の売上高構成

百万円	実績	予算比	前期比
売上高	48,663	Δ0.1%	+0.8%
営業利益	598	Δ5.0%	Δ5.1%



医療器材【82.6%】

百万円	売上高実績	前期比
カワニシ	32,056	+4.0%
サンセイ医機	11,763	Δ8.7%
日光医科	4,879	+5.9%

※各セグメント売上高はセグメント間内部売上高含む

医療器材事業ですが、売上高は 486 億 6,300 万円、前期比 0.8%増、営業利益は 5 億 9,800 万円、前期比 5.1%減となりました。

事業会社別の売上高前期比はご覧のとおりでございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



医療器材事業(消耗品売上高)

売上高433億円
前期比 4.4%増

百万円

エリア	売上高	前期比	ポイント
中国	17,573	+5.8%	●手術 4.7%増 外科関連4.9%増 麻酔関連4.0%増 糖尿病関連10.3%増
四国	8,892	+4.7%	●整形 4.1%増
関西	6,832	+0.9%	全国的な症例増と新規獲得施設が順調
東北	8,847	+2.6%	●循環器 4.1%増 ABL関連が堅調 TAVI等の新たな治療デバイスが好調
関東他	1,096	+19.2%	◆昨年10月の消費税増税に伴う償還価格改定は 想定を上回る引下げ幅。循環器の粗利率低下

*1 ABL：頻脈の原因になる異常な電気興奮路を焼灼または冷凍で遮断する治療

*2 TAVI：人工弁を低侵襲に留置する治療

21

Kawanishi Holdings, inc.

医療器材事業のうち、消耗品の売上高ですが、エリア別の売上高はスライドのとおりです。サブセグメント別に見ますと、まず手術では外科、麻酔関連材料が順調であり、糖尿病関連材料は10%超の増加となりました。循環器ですが、不整脈治療のアブレーションの伸びは落ち着いたものの堅調であり、大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療のTAVIなどの新たな治療デバイスが好調に推移し、4.1%増加しました。

その結果、医療器材、消耗品は売上高433億円、前期比4.4%の増加となりました。

なお、昨年10月の消費税増税に伴う償還価格改定は想定を上回る引き下げ幅であったため、循環器領域の粗利率が低下しました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





医療器材事業(備品売上高)

売上高53億円
前期比 $\Delta 20.1\%$

百万円

エリア	売上高	前期比増減	ポイント
中国	2,204	+30.0%	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年10月の消費税増税に対する駆け込み需要で当初見込みを超える受注 ● 前期の建替え・移転等の大型案件に至らず
四国	998	$\Delta 30.9\%$	
関西	491	+8.2%	
東北	1,784	$\Delta 44.7\%$	
関東他	55	+197.3%	

22

Kawanishi Holdings, inc.

次に、備品ですが、2019年10月の消費税増税に対する駆け込み需要で、当初の見込みを超える受注がありましたが、四国、東北地方では前期の特需規模には至りませんでした。

結果、売上高は53億円、前期比20.1%の減少となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





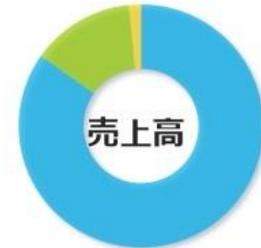
SPD事業

HOSNET

ホスネット・ジャパン

百万円	実績	予算比	前期比
売上高	9,112	+6.9%	+11.0%
営業利益	40	+43.6%	+21.9%

SPD(15.5%)



- ◆新規に契約した施設が順調に稼働
- ◆物品管理サービス料金の見直しによる増益
→サービス・コストに見合う料金

契約総数	
直接	61件
FC	13件

※各セグメント売上高はセグメント間内部売上高含む

23

Kawanishi Holdings, inc.

次に、SPD 事業ですが、新規施設が順調に稼働し、売上高 91 億 1,200 万円、前年同期比 11.0% 増、営業利益は 4,000 万円、前期比 21.9% 増となりました。

なお、前期から収益性の改善を図るためサービス・コストに見合う物品管理サービス料金の見直しが進んだこともあり、増益になりました。

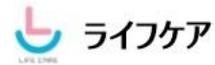
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



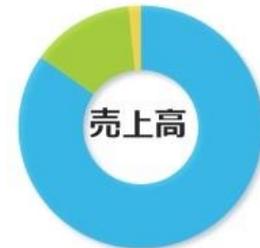


介護用品事業



百万円	実績	予算比	前期比
売上高	1,104	△0.6%	+6.2%
営業利益	54	+13.4%	+9.6%

介護用品〔1.9%〕



- ◆主力の介護用品レンタル用品 前年同期比6.0%増
- ◆介護・療養型施設への器材販売が順調
- ◆2019年7月 西広島支店開設



※各セグメント売上高はセグメント間内部売上高含む

24

Kawanishi Holdings, inc.

次に、介護用品事業ですが、売上高 11 億 400 万円で、前年同期比 6.2%増です。営業利益は 5,400 万円で、前年同期比 9.6%増となりました。

価格の上限が設定された主力の在宅ベッドを含むレンタル用品は前期比 6%増と、引き続き成長しております。

また、規模はまだまだ小さいですが、介護・療養型施設への販売も順調に拡大しています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





連結貸借対照表

百万円

資産	金額	増減	負債・純資産	金額	増減
現金・預金	2,658	1,538	仕入債務	24,288	2,487
売上債権	22,679	1,395	短期借入金	4,035	2,588
商品	5,971	1,315	その他	1,311	△506
その他	575	△95	流動負債計	29,634	4,569
流動資産計	31,884	4,153	長期借入金	605	△210
有形固定資産	4,694	885	その他	2,149	1,028
無形固定資産	494	65	固定負債計	2,754	818
投資その他資産	1,969	166	負債合計	32,388	5,387
固定資産計	7,158	1,117	純資産合計	6,654	△116
資産合計	39,043	5,270	負債純資産合計	39,043	5,270

※増減は前期末比

1株当たり純資産 1,186.09円

25

Kawanishi Holdings, inc.

次に、連結貸借対照表です。売上債権が13億9,500万円増加しております。商品も13億1,500万円増加しています。また、仕入債務が24億8,700万円増加しています。純資産は1億1,600万円減少し、66億5,400万円となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





連結キャッシュフロー計算書

	百万円	19年6月期 第2四半期	20年6月期 第2四半期
税引前利益		537	308
減価償却費		172	195
貸倒引当金の増加(△は減少)額		4	261
売上債権の増減額(△は増加)		△2,203	△1,397
たな卸資産の増減額(△は増加)		△303	△1,315
仕入債務の増減額(△は減少)		2,664	2,487
その他		△884	△819
営業キャッシュフロー		△13	△278
有形固定資産取得による支出		△115	△87
無形固定資産取得による支出		△148	△94
その他		26	△82
投資キャッシュフロー		△237	△264

次に、連結キャッシュフローでございますが、営業キャッシュフローについては2億7,800万円の減少となっています。投資活動によるキャッシュフローについてはご覧のとおりです。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



連結キャッシュフロー計算書

	百万円	19年6月期 第2四半期	20年6月期 第2四半期
短期借入金の純増減額（△は減少）		1,200	2,600
長期借入れによる収入		1,100	—
長期借入金の返済による支出		△172	△221
配当金の支払額		△219	△228
その他		△33	△68
財務キャッシュフロー		1,875	2,081
現金・現金同等物の増減額(△は減少)		1,624	1,538
現金・現金同等物の期首残高		1,359	1,070
現金・現金同等物の期末残高		2,983	2,609

財務活動によるキャッシュフローは20億8,100万円の増加となりました。その結果、2020年6月期第2四半期の現金および現金同等物の期末残高は26億900万円となりました。

ここからは、市場動向と中期展望についてご説明します。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



日本の国民医療費の動向

- ◆平成29年度は43兆円を超える
- ◆継続的な医療費抑制策・・・費用対効果も検証

■ 医療費
 ◆ 75歳以上
 単位：兆円



平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度

厚生労働省 平成29年度 国民医療費の概況

まず、当社を取り巻く環境として、日本の医療費の動向です。平成29年度は総額で43兆円を超えました。75歳以上の医療費も同様の傾向にあります。このため、国としては継続的な医療費の抑制策をとり続けていくものと見られます。また、医療費の費用対効果についても検証されていきます。

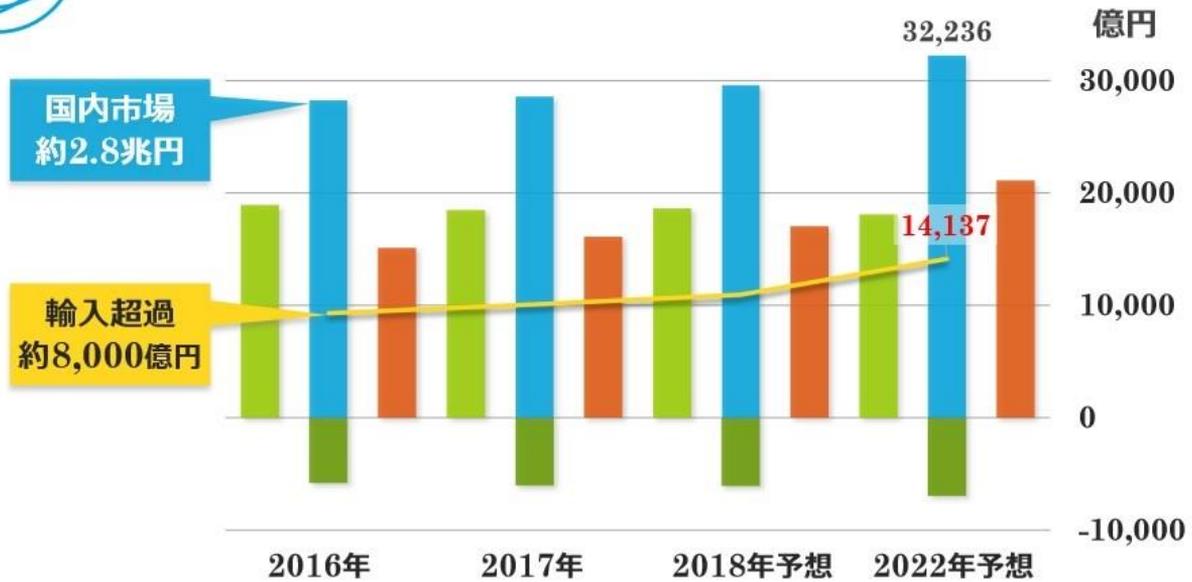
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





医療機器市場



年平均 成長率 2017-2022	国内生産	輸出	輸入	国内市場	輸入超過
	▲0.4%	2.9%	5.5%	2.4%	—

2016年薬事工業生産動態統計 2017年以降みずほ銀行 産業調査部予測

医療機器市場に目を向けますと、国内市場全体は青色の棒グラフですが、2016年は約2.8兆円、現時点で約3兆円で、今後年平均2.4%成長して、2022年には約3.2兆円と予測されています。また、国内生産、黄緑色のところですが、これはマイナス0.4%とやや厳しい見通しで、その一方でオレンジ色ですが、輸入は年平均5.5%、輸出が年平均2.9%増と、海外製品の優位な市場性が続き、2016年時点での約8,000億円の輸入超過は今後さらに拡大すると見込まれています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





医療・介護の行政動向

	2017	2018	2019	2020	2021
償還価格		4月改定	● 10月改定	● 4月改定 国費ベースで 0.02%引下げ (▲30億円)	
消費税10%			● 10月増税		
病床再編			● 病床機能報告制度見直し ● 9月再編・統合の公的機関424施設 ● 1月上記修正通知 440病院（非公表）		
R-SUD 単回使用品 再製造	7月制度施行	ホギ・メドライン 参入	● 8月 再製造ラッソー 2515 承認	● 保険償還価 格設定	
介護保険	保険見直し 利用者負担増	7月レンタル 平均価格公表 上限規制			● 保険見直し

次に、中期の医療・介護の行政動向をまとめていますが、医療器材の保険償還価格は消費増税への対応により、昨年10月に改定され、そして今年4月にも改定されますが、この4月の改定に関しては、全体で約30億円の引き下げ規模が見込まれています。

病床再編では急性期の基準に手術件数などを織り込む病床機能報告制度の見直しが始まりますが、併せて昨年9月に再編・統合が必要な公立・公的医療機関が公表され、それが今年1月に一部修正されて、440病院が非公表で当該医療機関に通知されました。

それから、SUD単回使用製品医療機器の再製造は昨年8月に電極カテーテル、ラッソー2515が承認されました。そして、その保険償還価格が、この2月に決定されました。

また、介護領域では2018年7月から介護用品のレンタル価格の上限設定が実施されております。

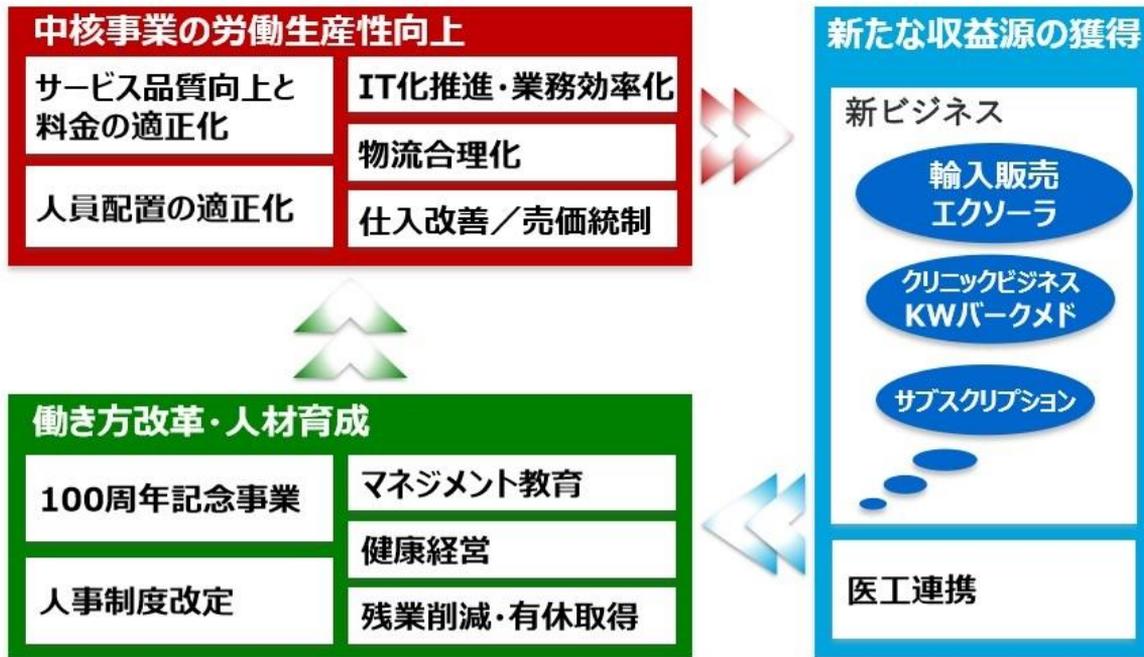
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



中期経営計画の重点テーマ

(2020年6月期～2022年6月期)



次に、今期から向こう3年間の中期経営計画をお示しします。まず、働き方改革・人材育成でございしますが、100周年記念事業、人事制度改定、マネジメント教育、健康経営、残業削減・有休5日取得を目標とします。

そして、中核事業の労働生産性向上を目指して、QC活動、IT化推進・業務効率化、人員配置の適正化、物流合理化、仕入改善/売価統制を行います。

そして、中核事業で得られた収益の一部を新規ビジネス等へ先行投資して、新たな収益源を獲得していきます。エクソーラメディカルの輸入販売、カワニシパークメドのクリニックビジネス、サブスクリプションビジネス、医工連携などが該当します。

そして、得られる収益を人材育成やIT、物流管理システム等に再投資して、カワニシグループの成長サイクルを回していきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





海外の先端医療機器

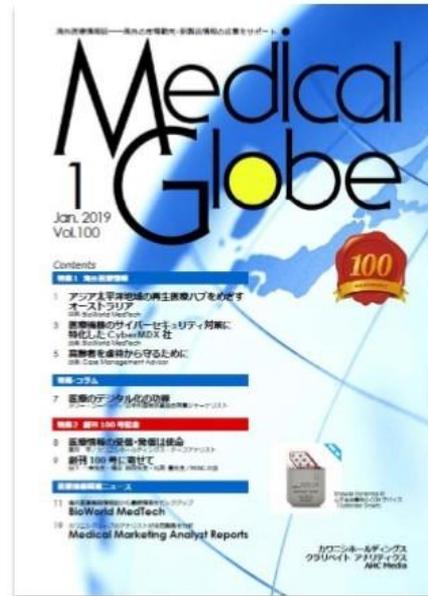
海外医療情報誌

Medical Globe

発行(株)カワニシホールディングス

海外情報は、クラリベイト・アナリティクスならびに
AHC Media LLC.と提携し、同社の誇る最新
の
グローバル情報の中から厳選したコンテンツを、日本
語版のダイジェストで提供しています。

2010年10月創刊



購読先 医療機器メーカー・医療機関・大手製薬会社・大手シンクタンク

さて、当社で刊行しております海外医療情報誌、Medical Globe のご紹介です。本誌はクラリベイト・アナリティクスならびに AHC Media LLC.と提携して海外の最先端の医療機器や医療現場の情報を月刊誌として、いち早く日本にご紹介しています。昨年 1 月には 2010 年 10 月の創刊以来、記念すべき 100 号を発刊しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





日本医工ものづくりコモンズ MINCの会 「海外医療機器の最新動向勉強会」



Medical Globe(2010年10月創刊)に掲載の
海外の最新医療機器情報について多業種間で情報共有・議論を行う
医師・メーカー・経済産業省・厚生労働省・特許庁・AMED・PMDA・
当社MG編集部が参加、意見交換〈2017年10月開始〉

第12回 : 2019年12月4日 NCGM (国立国際医療研究センター) で開催



Kawanishi Holdings, inc.

Medical Globe ですが、大手医療機器メーカー、医療機関をはじめ、大手製薬会社、大手シンクタンクでも購読していただいております、高い評価をいただいております。

日本医工ものづくりコモンズの主催で、Medical Globe の情報を題材にした、海外医療機器の最新動向勉強会が東京の国立国際医療研究センターで3カ月ごとに行われています。私を含めた当社のMedical Globe 編集部、経済産業省や厚生労働省・特許庁・AMED・PMDAといった行政サイドの方々、ドクターやメーカー、ものづくり企業が参加されて、意見交換や情報共有を実施しています。当社として国産医療機器開発に向けての貢献という位置付けとなります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





成長市場 ロボット支援手術

新たな収益源

2020年4月 保険適用拡大が



手術台
SOT-100
Vercia™



内視鏡
スコープホルダー
EMARO



川崎重工業 webサイトより

ホギメディカル webサイトより

保険適用 (従来)

前立腺がん全摘術
腎がん部分切除

2018年4月拡大

1. 縦隔悪性腫瘍手術
2. 良性縦隔腫瘍手術
3. 肺悪性腫瘍手術
4. 食道悪性腫瘍手術
5. 弁形成術
6. 胃切除術
7. 噴門側胃切除術
8. 胃全摘術
9. 直腸切除・切断術
10. 膀胱悪性腫瘍手術
11. 子宮悪性腫瘍手術
12. 腔式子宮全摘術

35

Kawanishi Holdings, inc.

次に、成長市場としてロボット支援手術をご紹介します。2018年の診療報酬の改定で、肺がん、食道がん、胃がん、婦人科領域などへもロボット支援手術の保険適用が拡大されました。

今年4月には新たに七つの手術へのロボット支援手術の保険適用拡大の可能性がります。現在はda Vinci一強状態の市場でございますが、国内外の企業でも手術支援ロボットの上市に向けての開発が活発化してきております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





糖尿病 持続血糖測定+インスリンポンプ 新たな収益源

携帯型ポンプでインスリンを皮下に持続的に注入する（保険適用）

- ◆ 持続血糖測定（CGM） アボット・Dexcom（テルモ）
- ◆ インスリンポンプ Medtronic・テルモ
- ◆ SMBG消耗品 ロシユ



インスリンの注射（1日4回）に比べ
低血糖状態が少なくなるなど、
血糖コントロールが効果的に行える

グループ血糖管理売上高 前年同期比10.3%増



次は、中期計画で注力している糖尿病の血糖管理用機器です。持続血糖測定が拡大しており、また携帯型のポンプでインスリンを皮下に持続的に注入するインスリンポンプが1型糖尿病の患者さんを中心に使用されています。

この持続血糖測定とインスリンポンプを連動させたクローズドループシステムというシステムも開発、上市されており、今後の普及が見込まれます。

右下のグラフでお示ししていますが、当社グループの血糖管理関連の売上高は成長しておりまして、10%超と、高い成長を示しております。

潜在患者数を含めると、糖尿病患者数は国内で約1,000万人と推計されておりまして、今後糖尿病関連製品の需要はさらに高まると見ており、引き続き注力していきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





クリニック向けビジネスへ参入



(株) カワニシバークメド

EPARKと合併 (2019年7月設立)

新たな収益源



クリニック・医院向けに

- **EPARK** ネット予約システム
- 自動精算機・自動釣銭機

- 患者の利便性向上
- 外来繁忙の平準化
- 待ち時間短縮
- 人出不足の解消



37

Kawanishi Holdings, inc.

株式会社カワニシは、昨年7月に株式会社EPARKと合併会社を設立して、中国地方におけるクリニック向けEPARK事業、すなわちネット予約システム等を展開しています。

EPARKの強みであるITコンテンツおよびサービス展開力と、カワニシが長年培ってきたルート販売のノウハウを組み合わせ、地域医療への貢献を目指します。患者様の利便性の向上、医療機関では外来の繁忙時間帯の平準化といったお困り事を改善していきます。

また、今期から自動精算機・自動釣銭機の販売を開始しておりまして、クリニックの現金精算業務の精度の改善や、業務の効率化や人手不足に対する改善提案を進めています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





サブスクリプションビジネス

新たな収益源



● Philips人工呼吸器レンタル

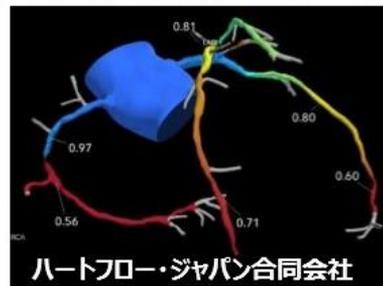


● アメニティサポートシステム



1セット単位で紹介手数料

● ハートフロー-FFR_{CT} データ解析



ハートフロー・ジャパン合同会社
2018年12月 保険収載

次に、新たに医療分野のサブスクリプションビジネスのご紹介でございますが、医療機関が物を購入して所有という従来の販売形態から、定額課金で利用に変わることによって、より早く、手軽に機器やサービスの購入が可能となります。

当社は医療機関に対する導入支援を引き受けて、サービスの利用期間、あるいは利用単位ごとに継続的な紹介手数料を得ていきます。従来の物の販売と比べると、手間暇やコストは大幅に縮減できます。

現在は、お示ししていますが、Philips社の人工呼吸器レンタル、入院に必要な物品を取りまとめた、アメニティサポートシステム、それから安定狭心症などの心臓の冠動脈狭窄のCT診断の画像解析サービスであるハートフロー-FFR_{CT}のプロモートを推進しておりまして、サブスクリプション市場の開拓を進めています。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com





中国経産局受託事業

新たな収益源

開発製品の 販路開拓支援



「Gaglessマウスピース」
販路開拓

個別研究会 組成・実施



鳥取大学内ニーズ評価
システム構築サポート

医の芽ネット

中国地域
医療機器関連産業
参入フォーラム

ニーズ発掘 開発案件創出



倉敷中央病院ニーズ発信会
2018/2

開発製品の 市場調査



mikoto市場調査

次に、医工連携でございますが、事例として中国経済産業局からの受託事業をご紹介します。
この事例では、中国地域医療機器関連産業参入フォーラム、医の芽ネットが活動主体となります。
販路開拓支援、ニーズ発掘開発案件創出、個別研究会の立ち上げ、医療教育用シミュレーターなどの市場調査などの事業を受託して、地域の医工連携の推進に参画しております。

この他にも中四国、近畿、関東など、全国各地の地域産業支援機関や、ものづくり企業と連携して、医工連携を進めています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





物流統合システム

合理化・効率化

物流統合システムを **Li-Flo(リフロ)** とネーミング
2020年9月にKWの拠点を順次稼働→グループ会社展開



入荷検品時のRFID活用も視野

次に、物流統合システムですが、2020年9月のカワニシ拠点での順次稼働を目指して、開発、導入作業を進めています。

Line と Flow を組み合わせて、Li-Flo（リフロ）とネーミングしています。在庫管理、品質管理を強化して、貸出業務の効率化を行います。

また、本システムでは将来のRFID活用も視野に入れて開発を進めています。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com





Human Resource Management (人事施策)

働き方改革・人材育成

健康経営への取り組み

- ・「健康経営優良法人2020」認定へチャレンジ
- ・残業削減 & 有休取得
- ・就業時間内禁煙 & 禁煙サポート(2019年7月～)



マネジメント教育 (カワニシ・ビジネススクール中級篇)

- ・初級管理職向け
集合研修 (人・組織マネジメント)
e-learning (会計・マーケティング)



41

Kawanishi Holdings, inc.

次に、人事、HRM 施策ですが、健康経営の取組みを進めており、経済産業省が推進している健康経営優良法人の認定を目指しています。残業削減や有休取得を全社にて推進しています。

また、昨年7月より就業時間内禁煙を全社にて開始しました。併せて、卒煙に向けての禁煙サポートも実施しています。

それから、マネジメント教育ですが、初級管理職を対象として、人や組織のマネジメントの集合研修、e-learning による会計やマーケティングの学習を実施しています。

次に、SPD 事業・介護用品事業についてご説明します。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





SPD事業

HOSNET ホスネット・ジャパン



消費データ分析 (オプション対応)

● サービス見合う管理料アップ

→ 収益性の改善

● 販売型SPDシステム開発

→ 中小病院向け

→ 病院自主運用でコスト低減

● 急性期の薬剤管理SPD受託

● RFID (電子タグ) による業務効率化

→ 2025年 RFIDタグ @2円程度予測

→ 病院物流研究へ

導入効果: 棚卸・出庫検品等の効率化大



	RFID	バーコード
データ量	数十キロバイト	数十バイト
最大通信距離	~数m	~数十cm
複数一括読取	可	不可
透過性	可	不可
コスト	高い	安い

まず SPD 事業でございますが、サービスの付加価値に見合う管理料の見直し、交渉を進め、収益性の改善を目指しています。一方で、中小病院向けの手間、コストをかけない病院自主運営型 SPD システムを開発して、この 3 月から販売の予定です。また、急性期施設に対する薬剤管理 SPD の受託にも注力します。

ところで、RFID タグはアパレル業界では既に導入されていますが、2025 年には RFID タグの価格が 2 次元バーコード並みの 2 円程度に低下するとの予測から、SPD 領域でも、このシステム導入に向けての動きが活発になっています。

ホスネット・ジャパンでは、病院物流研究会を立ち上げて、RFID による業務の効率化にも取り組んでいます。

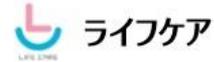
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





介護用品事業



● 地域展開再開（新規・既存両エリア）

● レンタルサービス

⇨ 拡販協力製品・新製品の投入
（利益率改善）

⇨ 車椅子メンテ強化（業界認定整備士拡充）

⇨ 撤退同業社の利用者引き受け

● 住宅改修自社施工

⇨ 在宅復帰需要・保険外工事獲得

次に、介護用品事業ですが、しばらくの間、見合わせておりました新規出店についても、エリアの市場性なども踏まえて再開しています。2019年7月には西広島支店を開設しました。介護用品事業の中核であるレンタルサービスでは、メーカーの拡販協力製品や新製品に注力して利益率の改善を図っていきます。

また、車いすのメンテナンスの需要が高まっておりまして、この対応も進めていきます。そして、撤退同業者の利用者引き受けにも積極的に参入します。

さらに、住宅改修の自社施工を進めていきます。

次に参考資料でございますが、連結経営指標等の推移についてはお手元の資料をご参照いただければと存じます。

以上が2020年6月期、第2四半期の決算発表となります。ご参加いただきまして、ありがとうございました。

司会：ご説明ありがとうございました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質疑応答

司会：それでは、この後は質疑応答の時間に入らせていただきます。

質問のある方は挙手をしてご発言をいただきたいと思います。発言に際しましてはマイクをお持ちしますので、マイクでのご発言、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、この説明会は質疑応答部分も含めまして、全文を書き起こして公開の予定でございます。従いまして、質問の際に氏名、会社名を名乗られた場合はそのまま公開となります。従いまして、匿名を希望される場合は、質問の際に名前を名乗らないように、よろしくお願いいたします。

それでは、質問のある方、いかがでしょうか。

質問者：ご説明ありがとうございました。いくつかお伺いしたいのですが、まず、在庫がだいぶ増えておられるようですが、これはどんなものが、どういう理由で増えてきているのでしょうか。何か売れ残しでもあったのでしょうか。

前島：ありがとうございます。それでは、営業本部長の宮永からお答えします。

宮永：在庫が増えているのは売れ残し等ではなくて、戦略的に大量に安価に仕入れているところと、あとは、その仕入れによってのインセンティブ獲得のための前向きな在庫として捉えております。以上です。

質問者：それはどんなものですか、安価で大量に仕入れているものは。

宮永：われわれは急性期で使っている、大体ルーティンで出てくる外科の手術に使うディスポの道具であるとか、覆布類、手術関連で使うものの消耗品が主です。

質問者：次に、この間の、先ほどお話の貸倒引当金、これは今期で終わるのでしょうか。それとも、来年度も引き続き少し出てくるのでしょうか。

前島：それに関しましては、管理本部長の村田からお答えいたします。

村田：貸倒引当金ですが、当初、先方の提携会社に支払った前渡し金を処理したのですが、今回の処理でほぼ終わりましたので来期以降はこういうものが出てくることはほとんどないと思っております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

質問者：最後に、ロボットの da Vinci ですが、ウォール街の話では、この da Vinci の独占もそろそろ終わって、かなり大きな乱戦状態になるという話が随分出ているのですが、このロボット手術の今後の状況、競争状況について、御社はどんなふうに見ておられますか。教えていただけるとありがたいのですが。

前島：これは私からお答えいたします。確かに日本の国内でも数社、今開発されています。それから海外で、いわゆる外科の大手でジョンソン・エンド・ジョンソンですとか、メドトロニック、そういったところも開発を進められております。

そういった後発と言ったらあれなのですが、インテュイティブ以外の会社からの参入が、恐らく今年から向こう 2~3 年にかけて出てくるかなと考えております。

ただ、現在 da Vinci でございますが、かなり学会とも組んで強気に臨床現場に入っております。それからドクターに対するトレーニングなんかの施設もかなり充実しておりますので、なかなかこれを簡単に覆すのは難しいのではないかなと見ております。

ですので、3 年から 5 年先ぐらいには競争市場になってくるかなと私たちは見ております。

質問者：ありがとうございました。

司会：ありがとうございました。他にご質問はいかがでございましょうか。

それでは、質問はないようでございますので、以上をもちまして本日の決算説明会は終了でございます。どうもありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

